

「超高精細度テレビジョン放送システムに関する技術的条件」のうち「超高精細度テレビジョン放送システム等の高画質化に係る技術的条件」に関する検討の進め方(案)

「放送システムに関する技術的条件」(諮問第2023号)のうち「超高精細度テレビジョン放送システムに関する技術的条件」のうち「超高精細度テレビジョン放送システム等の高画質化に係る技術的条件」について、委員会が必要とする情報を収集し、委員会の検討を促進させるために「HDR作業班」を設置し、調査することとする。

1. 技術的条件を調査するための前提条件

放送・通信分野等において、ハイビジョンを超える飛躍的な画質の向上に資する超高精細度映像技術の研究・開発が進展してきており、現在のハイビジョンを超える画質の映像の制作・表示に関する国際規格の策定も進み、4Kに対応したカメラ、ディスプレイ、プロジェクタ等の製品化等も急速に進んでいる。

このような状況を踏まえ、総務省では、「放送サービスの高度化に関する検討会」(座長:須藤修 東京大学大学院情報学環長・教授)を開催し、同検討会に「スーパーハイビジョンWG」(主査:伊東 晋 東京理科大学理工学部 教授)を設置して検討を進め、4K・8K(スーパーハイビジョン)による放送サービスや受信機の実用化・普及に関するロードマップを2013年5月31日に策定したところである。

また2014年2月から「4K・8Kロードマップに関するフォローアップ会合」(座長:伊東 晋 東京理科大学理工学部教授)を開催し、各目標年の取組の具体化・加速化、並びに、ロードマップに示された目標実現に際しての課題及び課題解決のための具体的方策等について、検討を進めてところである。2015年7月に発表された第二次中間報告において、HDR(High Dynamic Range imaging)の動向について、米国などで4Kフォーマット+HDRでの映像配信が予定されていること、4K対応のBD「Ultra HD Blu-ray」の仕様においてもダイナミックレンジの拡大が行われていることが報告されたところである。

このような背景を踏まえて、我が国においても超高精細度テレビジョン放送等の更なる高画質化を図るため、必要な技術的条件について調査を行う。

2. 調査事項

「超高精細度テレビジョン放送システムに関する技術的条件」のうち「超高精細度テレビジョン放送システム等の高画質化に係る技術的条件」の検討に向けて、以下の事項を調査・検討する。

- 超高精細度テレビジョン放送システム等へのHDR技術の導入に必要な技術的条件等

3. 作業班の設置要綱

別紙1及び別紙2のとおり。

4. 今後の想定スケジュール
別紙3のとおり。

5. その他

検討に資するため、本委員会では、HDR の方式に関する提案募集の機会を設けることとする。
提案募集にあたっての要求条件を決定したのち、提案募集に係る報道発表を行う。(別紙4)

HDR作業班の設置要綱について

放送システム委員会における「放送システムに関する技術的条件」のうち「超高精細度テレビジョン放送システムに関する技術的条件」に関し、超高精細度テレビジョン放送システム等へのハイダイナミックレンジ技術の導入の検討に必要な情報を収集し、技術的条件についての調査を促進させるために「HDR作業班」を設置することとする。

1. 作業班の運営等

- (1) 作業班の会議は、主任が招集する。
- (2) 作業班に主任代理を置くことができ、主任が指名する者がこれに当たる。
- (3) 主任代理は、主任が不在のとき、その職務を代行する。
- (4) 主任は、作業班の調査及び議事を掌握する。
- (5) 主任は、会議を招集する時は、構成員にあらかじめ日時、場所及び議題を通知する。
- (6) 特に迅速な調査を必要とする場合であって、会議の招集が困難な場合、主任は電子メールによる調査を行い、これを会議に代えることができる。
- (7) 主任は、必要があるときは、会議に必要と認める者の出席を求め、意見を述べさせ、又は説明させることができる。
- (8) 主任は、必要と認める者からなるアドホックグループを設置することができる。
- (9) 作業班において調査された事項については、主任がとりまとめ、これを委員会に報告する。
- (10) その他、作業班の運営については、主任の定めるところによる。

2. 会議の公開

会議は、次の場合を除き、公開する。

- (1) 会議を公開することにより当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害する恐れがある場合。
- (2) その他、主任が非公開とすることを必要と認めた場合。

3. 事務局

作業班の事務局は、情報流通行政局放送技術課が行う。

情報通信技術分科会 放送システム委員会
HDR作業班 構成員

(敬称略)

主任	甲藤 二郎	早稲田大学 基幹理工学部 情報通信学科	教授
主任代理	奥井 誠人	国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 超臨場感映像研究室	副室長
	池田 哲臣	一般社団法人 電波産業会 デジタル放送システム開発部会	委員長
	上園 一知	株式会社ジュピターテレコム 技術企画本部 技術戦略部	マネージャー
	鵜飼 徹	一般社団法人 衛星放送協会 技術委員会 (株式会社東北新社)	副委員長 (執行役員 放送本部等々カメディア センター長兼技術部長)
	浦野 丈治	日本テレビ放送網 技術統括局 技術開発部	専門部長
	小倉 敏之	ソニービジュアルプロダクツ株式会社 技術戦略室	シニアプリンシパルエンジニア
	小島 敏裕	フジテレビジョン 総合技術局	局次長
	小山 恭司	テレビ朝日 技術局 技術戦略部	
	佐々木 博之	パナソニック株式会社 渉外グループ	担当部長
	柴田 達雄	一般社団法人日本ケーブルラボ	実用化開発部長
	杉本 明久	一般社団法人 日本CATV技術協会	事業部長
	高田 仁	一般社団法人 日本民間放送連盟 企画部	主幹
	田島 慶一	スカパーJ S A T株式会社 技術運用本部 システム技術部	部長代行
	田中 英治	テレビ東京 技術局技術開発部	副参事
	中田 仁也	一般社団法人 次世代放送推進フォーラム	技術部長
	西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部	上級研究員

	廣田 篤史	株式会社WOWOW 経営戦略局 経営企画部	担当部長
	藤根 俊之	シャープ株式会社 デジタル情報家電事業本部 グ ローバル開発センター 第2開発部	部長
	堀 明宏	Dolby Japan 株式会社	顧問
	牧田 英雄	日本電気株式会社 放送・メディア事業部 放送第 二技術部	シニアエキスパート
	増原 一衛	日本放送協会 技術局 スーパーハイビジョン開発 部	専任部長
	三木 圭輔	TBSテレビ 技術局 JNN技術統括部	部次長
	南 浩次	三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 映像処理 技術部	部長
	山内 日美生	株式会社東芝 研究開発センター オーディオ&ビ ジュアル技術開発部	グループ長

超高精細度テレビジョン放送システム等の高画質化 検討スケジュール

	放送システム委員会	HDR作業班
平成 27 年 11 月	<p>○第51回委員会【11/2午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討開始、HDR技術動向の紹介、進め方の確認、提案募集の実施について承認 <p>○提案募集の報道発表【中旬】</p> <p>↑</p> <p>情報通信技術分科会【11/17】</p> <p>提案募集</p>	<p>○第1回作業班【11/2午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> HDR技術動向の確認、進め方の確認、提案募集に向けた要求条件の検討
12 月	<p>↓</p> <p>○第52回委員会【12/11】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案募集の結果、意見聴取 	<p>○第2回作業班【中旬】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案募集の結果、意見聴取を受けた技術的条件の検討
平成 28 年 1 月		<p>○第3回作業班【中～下旬】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業班報告書(案)検討
2 月	<p>○第53回委員会【中旬】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会報告(案)の検討、意見募集 <p>↑</p>	<p>○第4回作業班【上旬】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術的条件(案)を含む報告書検討
3 月～4 月	<p>↓</p> <p>委員会報告(案)に対する意見募集</p> <p>○第54回委員会【中旬】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会報告(案)とりまとめ <p>情報通信技術分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部答申審議 	